

安全・安心な地域社会の実現をめざして 星見ヶ丘地区の取り組みの紹介

「自らの街の安全は自ら守る」という意識のもと、ボランティアによる自主的な防犯活動が各地で行われています。今回は、星見ヶ丘地区自治会連合会長の嶋田一恵さんと星見ヶ丘地区安全委員会副委員長の松本順一さんから、防犯ボランティア活動について話を伺いました。

星見ヶ丘の自主防犯団体はどのように結成されましたか

嶋田さん（以下敬称略）…星見ヶ丘は共働き家庭が多く、昼間に留守になる家が多いので、空き巣や自動車盗などの凶悪な事件が多発していて、活動を始める前の平成15年には多い日で1日12件もの犯罪が発生するなど深刻な状況でした。また不審者による児童への声掛け事案も多発していました。

そうした中、地域の安全を守ろうとPTAを中心とした「お散歩パトロール隊」が立ち上がり、パトロール腕章を巻いて散歩やジョギングをしながら地域を見守るといった

活動が平成16年から始まりました。

発足当時の参加者は40〜50人程でしたが、活動を続けるうちに人数が増えてきて、より本格的なパトロール隊を立ち上げようという話になって、自治会連合会の中に「地区安全委員会」という安全を専門に担う組織ができたのです。

そうして平成18年から青色回転灯パトロール車を導入した防犯活動を開始しました。パトロール車の愛称は子ども達が考えてくれた「あおぱとくん」です。

どのような活動をしていますか
松本さん（以下敬称略）…2人1組であおぱとくんに乗車して、公

園やコンビニなどを立ち寄りながらパトロールしています。PTAや民生委員による「昼間隊」が下校時間の午後3時から5時を、老人クラブボランティアによる「薄暮隊」が午後5時から7時を、自治会ボランティアによる「夜間隊」が午後7時から9時を担当しています。



あおぱとくんが子どもたちを見守ります



星見ヶ丘地区
自治会連合会長
嶋田一恵さん

星見ヶ丘地区
安全委員会副委員長
松本順一さん





活動の成果はどうですか
 嶋田.. 活動を始めてから
 犯罪の発生は減少傾向に
 あります。また自ら活動す
 ることで住民の防犯意識が
 高くなっていると思います。
 特に子ども達は幼いころ

1. 防犯情報を掲示して注意喚起
2. 団地内各所にある防犯看板

嶋田.. 月1回、警察や生活安全
 協会の人と合同パトロールをして、
 アドバイスを受けたり情報交換を
 したりしています。
パトロール以外の活動はありますか
 松本.. 防犯情報を掲示板や回覧
 板、メールなどで発信して注意喚
 起をしています。他にも防犯看板
 を立てたり、子ども達から防犯標
 語を募集し、優秀作品を公園に
 掲示したりしています。

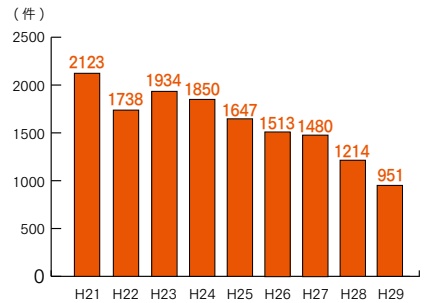
課題や展望は
 嶋田.. 現在ボランティアは180
 人程まで増えましたが、将来、高
 齢化が進めば、
 ボランティアが
 減りパトロール
 回数も減少し
 てしまいます。



公園に設置した防犯カメラ

からこうした活動を身近に感じて
 いるので、防犯意識は非常に高い
 です。
 松本.. 私は防犯ボランティアの活
 動を通じてたくさんの方の地域の人た
 ちと知り合いになることができま
 した。地域の輪が広がることも活
 動の成果といえますね。

市内の犯罪発生件数
 (刑法犯認知件数)



そうした状況になっても犯罪抑止
 力を維持するために、防犯カメラ
 の設置に取り組んでいます。既に
 2カ所の公園に設置していて、今
 後も増やしていく予定です。
 松本.. 防犯カメラの映像が犯人
 逮捕へ結びつくことも多く、抑止
 効果が期待できます。
**最後に、自主防犯活動に対する
 メッセージをお願いします**
 松本.. 活動を通じて人と人とが
 繋がりが地域の絆ができます。何か
 あったとき一人では何もできませ
 ん。このさき災害などが発生した
 場合でも、こうした地域のつなが
 りがあれば、力を合わせてお互い
 に助け合えると思います。
 無理をすることなく自分のでき
 る範囲で、ぜひ防犯ボランティア
 を始めてみてください。
 嶋田.. パトロールをすることで犯
 罪抑止力は絶対に高まります。犯
 罪が減ることは間違いありません。
 市内全体で防犯ボランティア活動
 が広まればうれしいです。

**桑名の防犯といえばこの人！
 防犯のことで悩んだらご相談ください。**

生活安全協会 **木地 茂さん**

年間約50回もの防犯講話を開催する木地さん。
 自主防犯団体との合同パトロールでは効果的な
 アドバイスもしています。

問 桑名地域生活安全協会 (☎ 25 - 1717)



自主防犯団体の立ち上げ
 を考えている皆さん、
 ぜひ一度、桑名地域生活
 安全協会へご相談ください

問 生活安全対策室 (☎ 24 - 1337 FAX 24 - 4102)